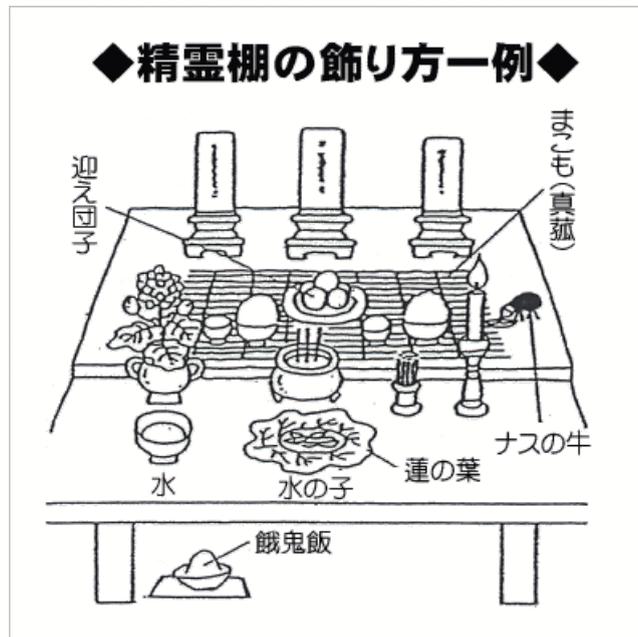


普仙寺だより

<<

>>

第180号 平成22年7月



お盆の精霊棚の一例。
机に真菰(まこも)を敷き仏壇の中からお位牌を移します。
香炉・灯明・花立・水向け皿・水の子・茄子の牛・胡瓜の馬。

800年前の法然上人

今から800年前、承元4年(西暦1210年)の7月、法然上人の周辺ではどのような事があったのでしょうか。

法然上人は、後鳥羽上皇の命によって四国流罪となり、3年前の3月16日京都を出発して讃岐生福寺に留まられていました。

同年12月8日、流罪を許す命が下りました。しかしながら、京都に戻ることは許可されず、摂津の国勝尾寺に留まることとなりました。

800年前の今月をもって、法然上人は、勝尾寺に居られること2年7ヶ月になりました。

嘉禄の法難、選択集拝読と念仏行脚案内

去る6月22日、嘉禄の法難の日に、知恩院御廟前にて『選択集』通読を行いました。第1章から第16章までの全部です。

参加者は加藤良光と伊勢教区蓮浄寺住職堤康雄上人、滋賀教区法蔵寺住職阿頼耶文雄上人と阿頼耶上人の知人杉本さんの4名でした。



平成22年6月22日 嘉禄の法難『選択集』通読 知恩院御廟拝殿にて
(左)堤康雄上人(中)加藤良光(右)阿頼耶文雄上人

ハワイ詠唱 奉納の旅

去る6月24日から29日まで住職加藤良光は法然上人800年大遠忌奉賛ハワイ詠唱奉納の旅に参加しました。ホノルルの浄土宗別院での法要、カウアイ島コロア浄土院の法要に詠唱奉納して参りました。



平成22年6月25日 ハワイ浄土宗別院
法然上人800年大遠忌法要参列の住職加藤良光

第45回 暁天講座

空気一息、水一滴、一椀の食事など生き生きとした寿(いのち)の働きにより今日の一日がある。この生かされる側から、生かされる方に気配りができれば、苦を越えられよう。簡単なことだが、それだけに難しい。人生は出会いである。自分を縦糸として、出会う人々を横糸として生涯の織物ができていく。善い出会いを大切にしたいものである。蝉しぐれの暁天に、講師の先生方から、この道を拝聴させていただこう。

とき

平成22年7月21日(水)、22日(木)、23日(金)
毎朝6時～7時

ところ

豊橋市花園町 真宗大谷派 豊橋別院

主催

豊橋仏教会・豊橋仏教奉賛会

7月21日(水)『大往生の条件』

浄土宗総本山知恩院布教師会会長

岡崎市 荒井山 九品院 院主 鈴木 超淳(すずき ちようじゆん)師

今も 保って妻帯不可の規律寺院の住職。多くのお小僧さんを預かり、同宗門の住職と成るよう育て上げ、全国寺院へ輩出。私ども やがて迎える「死」への心づもりや「今を どう生きるか」を、身近な題材を持って、三河弁で解りやすく説いて下さいます。

7月22日(木)『人との関わりにおいて学んだこと』

介護・社会福祉士

愛知県介護支援専門員 袖山 卓也(そでやま たくや)氏

お年寄りに「笑い」を届けるのが福祉の現場、「笑顔」が生きがいのバロメーター、「死」から逃れるのではなく、向き合い「生」を深く感じ、福祉において「笑い」を通し多くの人との関わりにおいて見えてきたもの、そして「一番大切なものは…」を若い力を持ってエネルギーにお話下さいます。

7月23日(金)『BELIEVE 信頼・地域の絆』

教育評論家

岡崎市 浄土宗 西居院 住職 廣中 那充(ひろなか ほうじゆう)師

悩みを抱え、行き場を失った子どもたちと生活を共にし、子どもの自立や社会復帰を支援する熱血和尚。子どもたちと関わってきた豊富な経験を基に、実践的教育論を説く。思春期の子どもとの接し方について、親の役割、地域・行政・学校の連携など、具体的な取り組みを紹介下さいます。

第44回 おてつぎ信行奉仕団のおすすめ

おてつぎ信行奉仕団は、浄土宗のふるさと法然上人の御廟のあります京都総本山知恩院を参拝し、そして身と心(信行一体)での奉仕を通じて、お念仏によって生かされている喜びを肌身に感じていただくと共に、同信同行の浄友と手を携えて、家庭や社会の浄化と福祉に寄与しつつ、念仏信仰を更に深め、また同信の輪を広めていくことを目的として行なわれてます。

長年おてつぎ信行奉仕団の宿坊としての「和順会館」が、平成23年の元祖法然上人800年遠忌記念事業として再建され、平成23年には完成されます。そのため昨年と今年のおてつぎ信行奉仕団は、日帰り日程によって実施いたします。是非、多くの方々が参加し、勝縁を結んでいただきたくお願い申し上げます。

主催 三河教区豊橋組

日時

平成22年10月19日(火)

集合場所と出発時間

1. 勢川 6:20 → 吉田方小前 6:25 → Aコープ 6:30 → 悟真寺 6:50
2. 普仙寺 6:10 → 金光寺 6:20 → 一建設 6:30 → 悟真寺 6:50
3. 高林寺 6:00 → 源立寺 6:10 → 太蓮寺 6:30 → 悟真寺 6:50

交通機関

貸切バス 3台

参加費

1名 13,000円（本山回向料3,000円を含む）

行程

悟真寺(6:50出発)－豊川IC－豊川JCT－四日市JCT－草津JCT－京都東IC－総本山知恩院<法話とお念仏>(11:00～受付)－京都東IC－草津JCT－四日市JCT－豊田JCT－豊川IC－悟真寺(20:40頃着)－各乗車地

※IC・・・インターチェンジJCT・・・ジャンクション

申込

所定の「申込書」に参加費を添えて所属寺院にお申し込み下さい。

締切

平成22年9月30日（なお、定員になり次第ご遠慮願うこともあります）

その他

- 本山で参加者一人1霊御回向していただけますが、特に別回向を希望される方は申込書に冥加料を添えてお申し出下さい。
- 昼食は、知恩院で用意して下さいますのでお弁当はいりません。
- 夕食は、車内にてお弁当を用意します。
- 清掃奉仕は、日帰り日程の為ありません。
- 筆記用具、持葉等各自必要なものはご準備下さい。
- 念のため健康保険証をご持参下さい。
- 御朱印は、御朱印用紙にてお願いしております。
- 参加回数が5、7、10、15、20、25、30、35、40回目のたびに知恩院より表彰されます。

寺行事案内

盆大施餓鬼会（ぼんだいせがきえ）

平成22年7月29日（木） 午後2時～午後6時半

時間申し込みをして下さい。

詳細は6月号にあります。

お盆の棚行（おぼんのたなぎょう）

8月1日より15日まで

日程・時間は葉書にてご通知します。

お盆の迎え方

8月13日

1. 盆棚飾り

小机または膳引き板に真菰(まこも)の筵(むしろ)または蔭(ござ)を敷き、仏壇の中からお先祖のお位牌をお移して安置します。

天井より女竹または芋殻(おがら)を水平に吊るし、五如来の幡(はた※1)や、鬼燈(ほおずき)を掛けます。

お位牌の前には、香炉・灯明・花立て・霊供膳・水向け皿・溝萩(みそはぎ※2)・水の子(みずのこ※3)・茄子の牛・胡瓜の馬・野菜・果物・団子・おはぎ等をお供えします。

※1 幡(はた)

盆大施餓鬼の際にお渡しします。

※2 溝萩(みそはぎ)

水向けの為の草花・ミソハギ科の多年草で
淡紅紫色の六弁小花を長い穂状に密生させている。
溝萩がない場合は南天の葉で代用します。

※3 水の子(みずのこ)

茄子のサイの目切りと洗米を混ぜたものを蓮の葉に盛りつけます。

2. 提灯飾り

お迎え提灯・家紋提灯

3. 迎え火

先にお墓の前でタイマツを焚き、次ぎに自宅門前でタイマツを焚きます。

4. お供物

迎え団子・お水をお供えしてお精霊(しょうろう)さまをお迎えます。

8月14日

3度のお膳、菓子・果物・野菜など

8月15日

1. 3度のお膳、菓子・果物・野菜など

2. 送り火

先に自宅門前でタイマツを焚き、次ぎにお墓の前でタイマツを焚きます。

3. お供物

お供物(なまもの)を普仙寺門前の納め所へ納めます。

8月16日

1. 灯籠流し

牟呂市場町の柳生川の河岸にて、夜7時より。
初盆の方は無料。材料を8月13日に普仙寺で配布します。
初盆以外の方は、材料代500円。本堂に置いておきます。

8月25日

1. 魂まつり(提灯納め)

豊橋仏教会主催行事。
松葉公園にて午後5時より7時まで。
納め料2,000円以上。